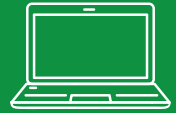


対応OS

Windows10/8.1/8/7



ABCursor Manual

・エービーカーソルご利用マニュアル・



⚠ 起動条件を満たしているのに起動しない場合

実行ファイル「ABCursor.exe」は「.NET Framework4.5」がインストールされているPC(Windows10)用です。Windows7をお使いの場合は「ABCursor_DNF3.5.exe」をダブルクリックして始めてください。どちらの場合も立ち上がったウィンドウから「この機能をインストールする」をクリックしてそれぞれの「.NET Framework」のバージョンをインストールすればお使いいただけます。

🔒 コピーガードについて

このプログラムにはコピーガードをかけておりますので、本USBメモリなしでは起動しません。他のメディアへのコピーもできません。紛失の場合の再配布はいたしません。故障の場合は保証書をご覧ください。一般のUSBメモリとしてもご使用いただけますが、プログラムの削除・書き換えによる修理は有償となります。保証書をご覧ください。パスワードロック機能付USBメモリですので、メーカーホームページをご覧ください。(https://www.abcursor.com)



ABCursor

The Application for Visualizing invisible motions and signals from input devices.

MOUSE | 操作マニュアル：マウス編(～利用開始)

① 設定を開く

まずは、このボタンより標準設定を読み込みます。[設定を開く]ボタンをクリックし、開いたウィンドウより「標準設定.bin」をダブルクリックで読み込みます。「標準設定.bin」は一般的な設定を済ませてありますので、面倒な設定なしで、すぐにお使いいただけます。すぐに使いたい方は[マウス移動範囲]へ(下記④へ)

② 設定を保存

様々なアプリケーションやPC環境に対応できるように、オリジナルの設定に名前をつけて保存しておくことが可能です。[設定を保存]ボタンをクリックし、開いたウィンドウよりファイル名を入力して[保存]ボタンをクリックすれば完了です。保存後は[設定を開く]ボタンからオリジナルの設定を読み込めるようになります。

③ マウス表示

A ポインタを追尾

マウス画像がマウスポインターに寄り添って移動します。画像位置は[位置オフセット]で調整できます。画像サイズは[表示倍率]で変更できます。

B マウスを表示

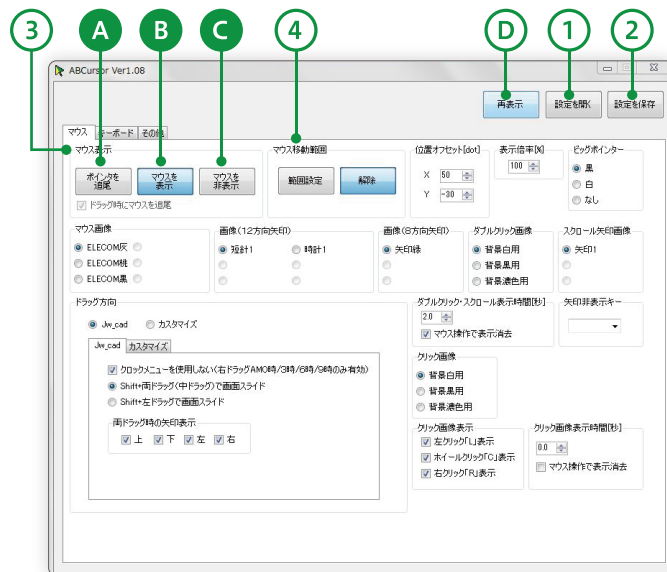
マウス画像をデスクトップ上の任意の場所に置いておけます。場所を移す場合はマウス画像をドラッグします。

C マウスを非表示

マウス画像を非表示にします。サブモニター上での別アプリケーションの操作やインターネット検索時に便利です。

④ マウス移動範囲

マウス画像がフレームアウトしたり、ツールバーを隠したりしないようにできます。表示したい範囲を赤い長方形の枠(※対角線上の2点をクリックすることで)囲います。[範囲設定]ボタンをクリックし、表示したい範囲の左上と右下をクリックします。するとマウス画像がこの範囲から出ないようにします。[解除]ボタンで解除、再設定が可能です。



D 再表示

PC内の処理が追いつかない等で、マウス画像がフリーズするケースが見受けられます。その際は[再表示]ボタンをクリックすれば現在の設定のままマウス画像がリセットされます。



ここまでの設定でマウスの初期設定は終わりになります。マウスの詳細設定は次ページへ!

keyboard | 操作マニュアル：キーボード編(～利用開始)

キーボードタブをクリックします

① キーボード表示

A キーを表示 ----- 入力キー画像を表示します。

B キーを非表示 ----- 入力キー画像を表示しません。

C 矢印キーで矢印表示 --- 矢印キーを押すと、キー画像ではなく、[マウス]タブの[画像(8方向矢印)]で選んだ矢印画像が表示されるようになります。

Point チェックを入れて外した場合は[その他]の $\square \leftarrow$ 、 $\square \uparrow$ 、 $\square \downarrow$ 、 $\square \rightarrow$ にチェックを入れ直してください。

② ポインター表示キー選択

デスクトップ上の注目させたい位置を波紋で明示する機能です。パソコン本体の設定を変えずに、プログラムの起動中に限り、左右Shiftまたは左右Ctrlキーから1つ選び表示します。チェックしたキーはキー表示しません。

Point チェックを入れて外した場合は[その他]の中のキーのチェックが外れたままなので入れ直してください。

③ 左手表示キー選択

テンキーの逆手(左手)入力を促す「左手」画像を表示する機能です。左右Shiftまたは左右Ctrlキーから1つ選び表示します。チェックしたキーはキー表示しません。

Point チェックを入れて外した場合は[その他]の中のキーのチェックが外れたままなので入れ直してください。

ここまでの設定でキーボードの初期設定は終わりになります。キーボードの詳細設定は最終ページへ!



位置オフセット

ポインタを追尾するマウス画像の位置をポインタを基点として調整します。



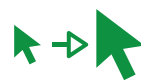
表示倍率

マウス画像の表示サイズを調整します。(10%~100%)



ビッグポインター

パソコン本体の設定を変えずに、プログラムの起動中に限り、黒または白のビッグポインターを選べます。



マウス画像



標準で3種類の画像をセットしてあります。USBメモリの[pic]フォルダ→[mouse]フォルダ内に画像を追加できます。(6種類まで)

Check

ファイル名の最初には必ず半角文字で1~6までの数字と_(アンダーバー)を付けます。入力したファイル名は項目名に反映されます。指定のpng画像が欠落するとプログラムが起動しません。



矢印非表示キー



ツールバーやポップアップウィンドウを移動する際のドラッグ操作で矢印キーが出ないようにします。F1~F12までの使用しないキーを選んで押しながらドラッグすると矢印画像は表示されません。

Check

ドラッグ時に矢印表示してほしくない場合、F1~F12までの指定キーを押しながらドラッグすれば12方向矢印と8方向矢印は表示しません。

A 画像(12方向矢印)



時計同様12方向のドラッグ動作を矢印で表示します。標準で短針タイプ1種類、時計タイプ1種類の画像をセットしてあります。USBメモリの[pic]フォルダ→[12Dir]フォルダ内に画像を追加できます。(各3種類まで)

B 画像(8方向矢印)



縦横4方向と斜め4方向のドラッグ動作を矢印で表示します。標準で1種類の画像をセットしてあります。USBメモリの[pic]フォルダ→[8Dir]フォルダ内に画像を追加できます。(3種類まで)

C ダブルクリック画像



ダブルクリックを数字の「2」で表示します。標準で3種類の画像をセットしてあります。USBメモリの[pic]フォルダ→[DClick]フォルダ内に画像を入れ替えます。(各3種類まで)

D スクロール矢印画像

マウスホイールのスクロール方向を矢印で表示します。標準で1種類の画像をセットしてあります。USBメモリの[pic]フォルダ→[Scroll]フォルダ内に画像を追加できます。(各3種類まで)



E ダブルクリック・スクロール表示時間

ダブルクリックとスクロールの表示時間を設定できます。「□マウス操作で表示時間」にチェックを入れると、マウスを動かすと同時に表示時間内であっても表示が消えます。



F ドラッグ方向

● Jw_cad

Jw_cad8でのドラッグ操作に準拠した設定です。「◎Jw_cad」を選んだら、下の[カスタマイズ]タブをクリックして設定します。

● カスタマイズ

Jw_cad以外での操作の場合に使います。「◎カスタマイズ」を選んだら、下の[カスタマイズ]タブをクリックして設定します。

G クリック画像表示

クリックを英字「L」「C」「R」で表示します。標準で3種類の画像をセットしてあります。USBメモリの[pic]フォルダ→[Click]フォルダ内に画像を入れ替えます。(各3種類まで)



H クリック画像表示時間

クリックの表示時間を設定できます。オンライン講座でのコマ落ち用です。「□マウス操作で表示消去」にチェックを入れると、マウスを動かすと同時に表示時間内であっても表示が消えます。



位置オフセット

入力キー画像の表示位置をマウスを基点として調整します。



表示倍率

キー画像の表示サイズを調整します。(10%~100%)



テンキーモード

テンキーのないノートパソコンで[◎あり]を選択して文字キーの1~0を押すと数字のみのテンキーが表示されます。



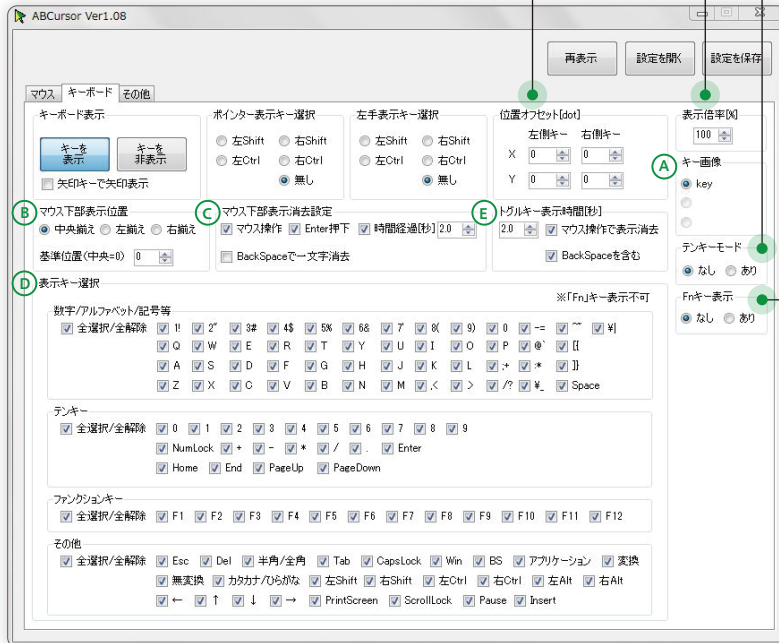
A キー画像



標準で1種類の画像をセットしてあります。USBメモリの[pic]フォルダ→[Key]フォルダ内に画像を追加できます。(3種類まで)

Check

ファイル名の最初には必ず半角文字で1~3までの数字と(アンダーバー)を付けます。入力したファイル名は項目名に反映されます。指定のpng画像が欠落するとプログラムが起動しません。



Fnキー表示



Fnキーはパソコン本体に信号を送りません。ノートパソコンでFnキーを使う場合、[Fn+←]キーを押すと[Home]キー信号がパソコン本体に送られます。[◎あり]を選択すると、パソコン本体に送られた[Home]キー信号を[Fn+←]に置き換えて表示します。同様に[PageUp]を[Fn+↑]、[PageDown]を[Fn+↓]、[End]を[Fn+→]に置き換えて表示します。

B マウス下部表示位置



入力キー履歴の表示位置を設定します。基点中央揃え、左揃え、右揃えから選択できます。

C マウス下部表示消去設定



入力キー履歴の表示時間を設定します。「□BackSpaceで一文字消去」にチェックを入れると、入力ミス履歴表示から消せます。

D 表示キー選択



表示キーを選択できます。

Check キーが表示されない場合はこのチェックが外れているかもしれません。

E トグルキー表示時間

半角/全角キー、CapsLockキー、カタカナひらがなローマ字キーは長押しできませんので個別に表示時間を設定します。BackSpaceも押したままですと全文消えてしまいますので、「□BackSpaceを含む」にチェックを入れると、トグルキー同様の扱いとなります。



Other [その他]タブ 画面キャプチャーの設定です。

キーボード設定

基本設定

PrintScreenで起動

PrintScreenキーを押すと起動、再度PrintScreenキーを押すかEndキーを押して終了します。

起動中メッセージ表示

起動中は画面左上に赤字で「PrintScreen」と表示します。特に処理能力の低いパソコンの場合、起動までに時間がかかりますので、チェックを入れておきます。

表示キーを含む

チェックを入れると、表示している入力キー履歴ごとキャプチャーします。

起動中メッセージ表示

PageUpで拡大、PageDownで縮小、Homeで全体表示。拡大時は矢印キーで画面移動となります。さらにマウスホイールでの拡大縮小を追加したい場合はチェックを入れます。

Shiftキー設定

ペンはShiftキーを押しながらドラッグしますので、キャプチャー中はShiftキーを画像表示しないようになっています。右Shiftキー+ドラッグ操作でペンを使うと決めれば、「☑左Shiftキー」としておくことで、左Shiftキーはキャプチャー中も画像表示されるようになります。

ペン設定

ペンの割り当て

マウスドラッグで機能します。Shiftキーを押したままドラッグすると、ペンは水平垂直線、円は正円、四角は正方形となります。一度書いたペンはCtrl+Zで元に戻す、Ctrl+Yでやり直せます。